

サイクルトレイン運行に向けた実証実験

JR山陰本線・鳥取うみなみロード

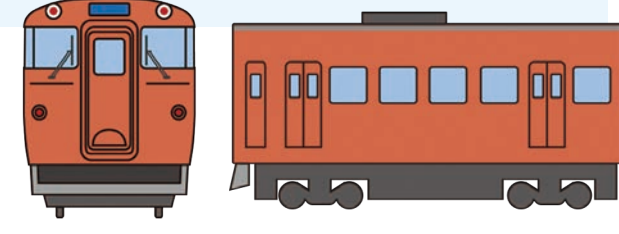
鳥取県 観光戦略課

サイクルツーリズム振興室
Cycle Tourism Promotion Office

山陰本線におけるサイクルトレイン運行に係る課題

安全性の検証

- ✓ 列車内で自転車の安定した固定ができるか。
- ✓ 1車両に何台の自転車が載せられるか。
- ✓ サイクリストがホームまで安全に移動できるか。



サイクルトレインの運行に係る課題の

根こそぎ解決に向けて、がっつり検証!

実施主体・検証手法 ※ 国・県の補助金を活用して実施

実施主体: JR西日本 / 協力: 鳥取県、県内サイクリング愛好団体

検証① 試運転実証実験

- 山陰本線で運行しているキハ47系2両を貸切運行し、米子～鳥取間を8時間かけて往復
- ほぼ各駅で停車して、ホームと列車間の乗降実証実験を実施

検証② 駅施設の実証実験

- 米子～鳥取間の各駅において、自転車を携行して駅構外からホームまでの動線を確認
- 玄関口、改札口、ホーム、待合室入口での通行実証実験を実施

山陰本線〔米子～鳥取間〕におけるサイクルトレインの目的

- 鳥取県を縦断する「鳥取うみなみロード」のNCR指定に向けた取組の中で、**代替交通手段としての利用を期待**
- 自転車の活用を促進するとともに、山陰本線の利用機会の拡大
- 地元の観光地とサイクルトレインをつなげ、新たな観光需要創出の促進を図る



米子駅・山陰本線などの現況

- 山陰本線(米子～鳥取)では、ほとんどの駅が無人駅
- 運行している普通列車は、ほぼワンマン
- 主な運行車両はキハ47系
- ボックス席中心でベンチシートが少ない車両

ちなみに



鳥取県西部・米子駅は山陰地方のハブ駅(山陰本線、伯備線、境線の結末点)

境線では鬼太郎列車、山陰本線では観光列車「あめつち」や「瑞風」等も運行

東京駅からの寝台列車「サンライズ出雲」が米子駅に停車

検証① 試運転実証実験

サイクリスト役と乗客役あわせて30名を貸切列車2両に分乗し、各駅のホームから列車への自転車持ち込みによる乗り降りや動線、列車内における自転車の配置や固定手法を検証。

車内検証 車内で自転車携行しての行き来が可能かを検証



乗降確認 列車への自転車持ち込みによる乗り降りについて各駅で検証
鳥取米子間往復8時間!



自転車配置・固定検証 車内において、どこにどのように自転車を固定すると安全性が担保できるかを検証



ブレイクタイム(昼食)
列車内で食べた昼食のお弁当。
こんな包み紙でした。



このおもてなしの心があれば
サイクルトレインも絶対できる!
そんな気がします。

検証② 駅施設の実証実験

各駅の駅構外からホームまで、自転車を携行して安全に移動できるか自転車を移動させながら検証。

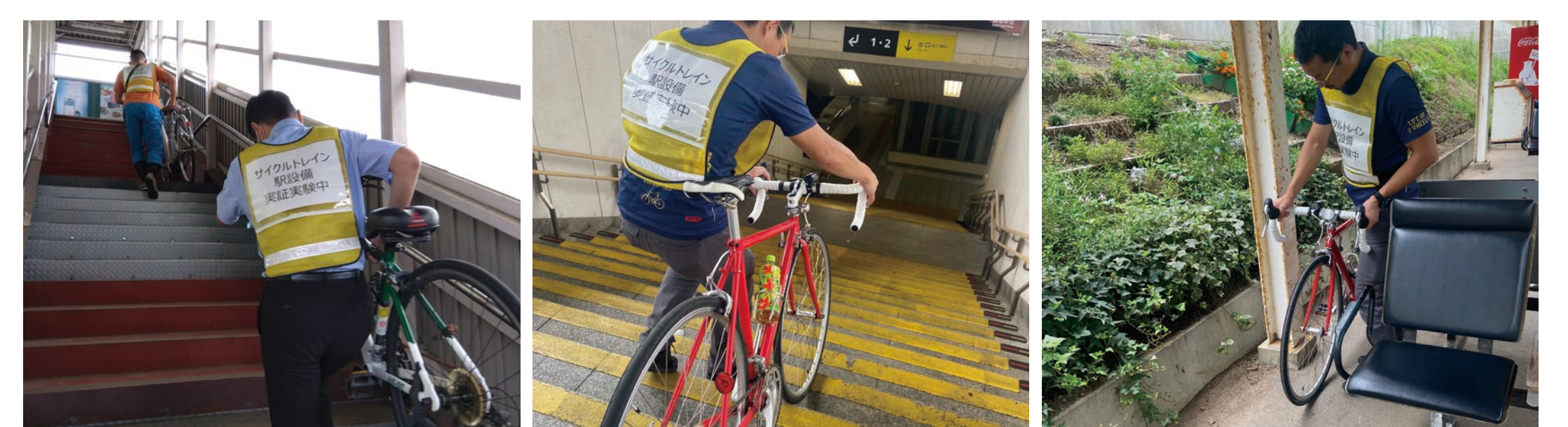
改札口・駅玄関通行検証

自転車を携行して駅玄関・改札口が安全に通行できるか検証



駅構内通行検証

ホームや跨線橋、待合室において、自転車を携行して安全に通行できるか検証



検証を終えて..

フィールドワークの重要性

JRをはじめとした関係者皆さんと一緒に、サイクルトレイン運行をイメージしながらじっくり時間をかけて、列車内や駅施設の安全性チェックを現地で検証できたことは大きな成果。

引き続き連携して検討を進めていきます

今回の検証結果をまとめ、山陰本線に適したサイクルトレインの運行手法や在り方について引き続き連携して検討を続けていきます。